

仕様書

ロボット・A I 部

1. 件名

「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）自動走行システム／大規模実証実験」のうち「ダイナミックマップ国際協調に向けた海外動向等に係る総合調査」

2. 目的

ダイナミックマップのデータモデルに関して国際協調を推進するにあたって、国内外の活動の調査や NDS・OADF など関係組織との議論を通し、業界仕様(デファクト)を中心とした情報収集を行い、以下を実現する。

- ダイナミックマップのデータモデル業界仕様と国際標準に関する国内・国際協調の検討・推進
- ダイナミックマップに関する国内外の関係組織との連携強化
- 国内関係組織とのダイナミックマップに関する知識の共有、研究開発の促進

3. 内容

ダイナミックマップのデータモデルに関する国内・国際協調に向けて、以下 1)～2)の調査を行う。

1) 国内外におけるダイナミックマップに関する調査

ダイナミックマップに関する国内外の取り組みについて文献調査や現地訪問等を行い、以下に示す項目の調査を行う。

- ・ ダイナミックマップの仕様や更新方法等の技術動向・業界仕様
- ・ ダイナミックマップの業界仕様および標準化に向けた取り組み
- ・ その他ダイナミックマップに関係する事項

2) ダイナミックマップのデータモデルに関する国内・国際協調に向けた取り組みに関する調査

ダイナミックマップのデータモデルの国内・国際協調を推進していくにあたって、必要となる情報の調査を行う。以下 a.～c.を実施する。

a. 関連する業界関連組織（NDS・OADF 等）の会議等への参加

平成 28 年度戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）事業である「ダイナミックマップの国際標準化と海外動向等調査」の調査結果と前項 1)で示した調査内容を活用し、NDS・OADF 等のダイナミックマップに関連する会議へ参加・議論することで、各国の実情等を踏まえた検討状況等に関する調査を行う。また研究開発の促進を目的として、国内関係組織との会議では調査結果の共有を行う。

b. ダイナミックマップの運用に関する国内外での差異の明確化

前項 a.の調査内容を基に、ISO/TC204/WG3 へ提案中のデータモデルを踏まえ、国内外の運用に関する差異を明確にし、その結果をガイドライン（含む対応表）等にまとめる。

c. ガイドラインの発信・協調活動の推進

前項 b.で作成したガイドラインを ISO/TC204/WG3 へ提案中のデータモデルへフィードバックしつつ、NDS・OADF 等の業界関連組織への説明資料として活用し、業界仕様との整合を図る。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から平成 31 年 2 月 28 日（水）まで

5. 予算額

平成 29 年度：1,000 万円以内

6. 報告書

提出期限：平成 31 年 2 月 28 日（水）

提出部数：電子媒体 CD-R（PDF 及び Word ファイル形式） 3 枚

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual_tebiki_index.html

7. その他事項

1) 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上